

第1回伊勢観光活性化プロジェクト会議の記録

編集・発行 伊勢市観光企画課
協力 アルパック

○日 時：平成19年9月27日（木）19:00～21:00

○場 所：伊勢商工会議所4階中ホール

○出席者：45名

○テーマ：伊勢の観光まちづくりをふりかえり共有しよう！

～第1回会議の流れ～

はじめに、市長からあいさつがあり、続いて、今回の「伊勢観光活性化プロジェクト」について、会議設置の目的等を観光企画課長から説明させていただきました。

続いて、これまでの伊勢の観光まちづくりをあらためてふりかえっていただくため、元助役の阿形さんから「前回の遷宮と市民の関わり」と題して話題提供していただきました。また、前回の遷宮後から、伊勢各地で広がっている観光まちづくりの取り組みを一覧にし、全国的な観光まちづくりの動向等をご紹介しました。

プロジェクト会議の進め方についての説明の後、4つのグループに分かれ、グループ討議に移りました。

～グループ討議での意見交換～

全体を「情報発信・誘客部会」「来てみて満足部会」の大きく2つに分類し、「来てみて満足部会」では、さらに3つに分かれて、短時間でしたがグループ討議を行いました。今回は、自己紹介を兼ねて、各団体等の取り組み内容や話題提供の感想、今回のプロジェクトへの関心・期待などを意見交換しました。

各グループの主な意見をまとめると、次のようになりました。

○情報発信・誘客部会 9名

- ・ 市民一人ひとりが神宮のまち伊勢市で生きる誇りを持ち、語ることで、それを生かして取り組んでいくことが大切である。
- ・ 伊勢市の宝は尽きることがないほど奥深く、神宮、神嘗祭をはじめ伊勢らしさ、伊勢だからというこだわりを重視して、日本、世界に情報発信していくことが大切。
- ・ 一人ではできないことでも、お互いに支援しながら、手をつないでいけば可能なことがあり、そのためのネットワークづくりが重要である。

○来てみて満足部会 第1グループ 13名

- ・ 「伊勢らしさ」とは何か。伊勢神宮が共通のテーマ。伊勢神宮との関係で生活があり、その生活に触れていくこと。
- ・ 伊勢の地域特性としての歴史・文化や、山・海・まちの景観を活かした観光コース、ウォーキングなどのネットワーク化を図りたい。
- ・ 農業・農作物などの食文化を活かして観光・地域振興に貢献したい。
- ・ 若者衆の人と心をつなぐ活動を進める中で、人間関係を発展させることが必要。
- ・ 合併した各地域が連携して、新しい「地域のブランド」や「交流の場」を活かし、発信していきたい。

○来てみて満足部会 第2グループ 11名

- ・ この会議の目的は、言いつばなしの検討や提言だけではなく、それを踏まえて、自らが実施する取組を検討すること。
- ・ もう一つの目的は、集まったことをきっかけとして、NPOや団体の連携体制をつくること。
- ・ これらを踏まえて、来年度から、市民や事業者の輪もさらに広げて、遷宮に向けて取り組んでいこう。

○来てみて満足部会 第3グループ 12名

- ・ 今回のように、伊勢の集客・交流に関わる市民活動団体が一同に集まった機会はこれまでに無く、貴重な機会。ぜひ連携して、もてなしに取り組みたい。
- ・ 同じテーマやストーリーで、それぞれの地区や団体の取り組みを連携・調整して、観光客に提供したい。
- ・ 今回の参加者のネットワークにより、集客・交流に係る受け入れ・もてなし体制を整えたい。観光協会の体制では不十分。案内人も増やしたい。

グループ討議の後、各グループで簡単な意見発表をしましたが、まだまだ話し足りない中で、時間切れになってしまいました。

今回のように、伊勢市内の観光まちづくりに携わる団体・組織・個人が一同に会する場は“初めて”の試みです。これから時間をかけて、伊勢のこれからの観光まちづくりの進め方について、一緒に検討していきたいと思います。